

進化 (evolution) する。それらの位置がモデルが描く分布図からは、ずれていたのである。

ここからは強風注意報・警報の発令ということになるが、すでに原稿が長くなっているのです、ここで終りとさせていただきます。

[追記]ここで述べたストームは、96時間前には数値予報でよく予報できたのに、予報時間が短くなったら予報精度が悪くなった驚くべき事例として有名になり、the 'Christmas Storm' という名も付けられた。どうしてそうなったのか。どうすれば数値予報を改善できるか。このストームを例として、早速議論が始まっている (Hello *et al.*, 2000)。

## 参 考 文 献

- Carroll, E. B. 1997 : A technique for consistent alteration of NWP output fields, *Meteor. Appl.* **4**, 171-178.
- Hello, G., F. Lalaurette and J.-N. Thepaut, 2000 : Combined use of sensitivity information and observations to improve meteorological forecasts : A feasibility study applied to the 'Christmas Storm' case, *Q. J. R. Meteor. Soc.*, **126**, 621-647.
- Young, M. V. and N. S. Grahame, 1999 : Forecasting the Christmas Eve storm 1997, *Weather*, **54**, 382-391.



## 教官 (東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻) の公募

東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻では、下記の要領で地球惑星システム科学講座の教官を公募いたします。

### 記

1. 職種・人員 教授もしくは助教授 計2名
2. 専門分野等

**教 授** : 地球惑星システムの形成進化に関して実験的・解析的・理論的手法を用いて、総合的に研究を行っていかうとする方。

**助教授** : 地球システム内のエネルギー輸送、物質循環と表層環境とのかかわりを様々なタイムスケールで実証的・理論的に解明するための総合的な研究を行っていかうとする方。

3. 着任時期 : 平成12年10月1日以降のなるべく早い時期
4. 応募方法 : 自薦もしくは他薦 (他薦の場合は御本人が了解されていること)
5. 提出書類 : 1) 履歴書

- 2) これまでの研究概要 (1600字程度)
- 3) 研究業績目録 (査読論文とそれ以外に分類して下さい)
- 4) 主な原著論文別刷 (5編以内)
- 5) 自薦の場合は、今後の研究・教育の計画・抱負 (1600字程度)  
他薦の場合は、推薦書
- 6) 応募者に関して御意見を頂ける方の氏名及び連絡先 (3名)

6. 応募締切 : 平成12年8月30日 (水) (必着) までに書留にて郵送のこと

### 7. 書類送付先・問い合わせ先 :

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学大学院理学系研究科・

地球惑星科学専攻 浜野洋三

電話 : 03-5841-4293, FAX : 03-5841-8791

E-mail : hamano@eps.s.u.tokyo.ac.jp

※着任後、学部教育 (理学部・地球惑星物理学科もしくは地学科) を兼任していただくことになります。